

# かわさき地球温暖化対策推進協議会・ グリーンコンシューマーグループ

## ■グループの母体

グループの母体は、「かわさき地球温暖化対策推進協議会」です。

川崎市では、1998年に「川崎市の地球温暖化防止への挑戦～地球環境保全のための行動計画」を策定し、その推進組織として「かわさき地球温暖化対策推進協議会」が活動しています。市民部会、事業者部会、学校部会、行政部会が各々あるいは協働して取組みを実施しています。

2004年には行動計画を改訂しました。

市民部会は、グリーンコンシューマー、ソーラー共同発電所、省エネルギー、交通環境の4つのグループに分かれて、地球温暖化防止の活動をしています。

## ■グループの誕生

私たちは他部会との協働のとりくみを重視しながら、グリーンコンシューマー（環境に配慮した購入行動をとる人）を増やしていきたいと活動しています。

それによって毎日の暮らしを見直し、市民一人ひとりの地球温暖化防止への取組みを広げていきます。

「川崎をエコショッピングタウンにしよう」を合言葉に、「エコロジーでエコノミー」のふたつのエコをさしている「エコちゃんず」をキャラクターに、広報活動を実施しています。



●エコちゃんず 左：エコろじいちゃん/右：エコのみいちゃん

## ■グリーンコンシューマー10原則とは

～「グリーンコンシューマーになる買い物ガイド」より～  
グリーンコンシューマー全国ネットワーク著 小学館発行

1. 必要なものを必要な量だけ買う
2. 使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ
3. 包装はないものを最優先し、次に最小限のもの、容器は再使用できるものを選ぶ
4. 作るとき、使うとき、捨てるとき、資源とエネルギー消費の少ないものを選ぶ
5. 化学物質による環境汚染と健康への影響の少ないものを選ぶ
6. 自然と生物多様性を損なわないものを選ぶ
7. 近くで生産・製造されたものを選ぶ
8. 作る人に公正な分配が保証されるものを選ぶ
9. リサイクルされたもの、リサイクルシステムのあるものを選ぶ
10. 環境問題に熱心に取り組み、環境情報を公開しているメーカーや店を選ぶ

- 現状ではこの10原則をすべて当てはめた買い物のできないこともあります。
- だからといって何もしないのではなく、一つでも実行していくことが大切です。
- その積み重ねがライフスタイルを変える大きな効果を生み、社会をも変えていく原動力になります。

## ■グリーンコンシューマーグループの取組み

### ①グリーンコンシューマーの普及

- ・ グリーンコンシューマー普及会議の開催
- ・ グリーンコンシューマー普及の推進  
以下の活動で、アピールする

### ②エコショッピングを推進する

- ・ 1店1エコ運動の推進
- ・ マイバッグ推進
- ・ レジ袋調査
- ・ 他グループ、商店街との協働
- ・ 「川崎をエコショッピングタウンに」をイベントでアピール

#### 「1店1エコ運動」

「エコ商品を買おうにも近所で売っていない。どこで売っているの？」という素朴な疑問から始まった「1店1エコ運動」。

お店にもっとエコな商品をたくさん置いてもらうには、消費者がエコ商品に関心をもって、エコ商品やお店を応援しなければなりません。どんなエコ商品があるのか、エコなサービスとはどういうことか、などもっと多くの方に知ってほしいと思っています。

私たちのエコショッピングの考えは、「エコロジーでエコノミー」に表されています。さらにそれをアピールするエコちゃんずというキャラクターを生み出しました。環境をイメージした葉っぱの帽子のエコろじいちゃん、資源をムダにせず経済的なをイメージしたお財布の帽子のエコのみいちゃん。この2人がいろいろな場所に登場します。

### ③グリーンコンシューマー学習の推進

- ・ エコショッピング・クッキングの出前講座の開催  
・・・小学校／市民館／子ども会／市民団体などの要請を受けて
- ・ 消費者行政センターの「暮らしのセミナー」講師

#### 「エコショッピング・クッキング」

旬の素材を無駄なく使い切るメニューを用意して、「必要なものを必要な量だけ買う・容器や包装の少ないものを買う・地産地消といって産地の近いものを買う」などエコな買いもののポイント、「ガスや電気などの省エネ、ムダをださない調理の仕方」をエコな調理のポイント、「油や汚れはふき取

ってから洗う・洗う水の太さに注意する」などエコな片付けのポイントを体験してもらいます。

その後、学校、市民館、区の街づくり委員会などさまざまな場で実施しています。また家庭科の授業で活かして欲しいと考え、川崎市総合教育センターで学校の先生向けに実施しました。

子どもたちからは、

- ・布でふきとったらとってもきれいになって、洗う水を汚さない
  - ・気をつけて買い物をしたり、調理をしたら、驚くほどごみが少なかった
  - ・サインペンの太さの水で、十分にきれいに洗えることがわかった
- など、体験したことによって、実感として理解できた効果がありました。

この活動は、消費者だけでなく、商店街など販売するがわにとっても、有効な意識変革の方法だと考えています。

#### ④他団体との協働

- ・かわさきコンパクトに参加
- ・グリーンコンシューマー普及会議に他団体が参加
- ・市内の環境グループの講座開催への協力（出前講座など）

### ■グリーンコンシューマーグループの取組み(歴史編)

- 2000年 川崎市内スーパー対象のレジ袋調査を実施  
スーパーとの話し合いを開催  
マイバッグコンテストの開催
- 2002年 モトスミ・ブレーメン通り商店街との協働の取り組み  
「がんばれモデル商店街づくり」事業を協働で推進  
東横線元住吉駅前モトスミ・ブレーメン通り商店街との協働の取り組みを実施。ひとつの店が何かひとつ環境に配慮した行動をするという「1店1エコ運動」を展開。
- クリーニング店のハンガー回収
  - おそばやさんが天ぷらに使う油を回収にだし出来た石けんを販売する
  - 電球型蛍光灯の3割引での販売
  - 冷房温度を低く設定しない など
- 「エコ調査隊」：近隣の小学校の子ども達によびかけ実施  
「エコ診断」グループメンバーにより実施
- 2003年 「エコショッピング・クッキング」講座を開始
- 2005年 「かわさきコンパクト」委員会に参加
- 2006年 消費者行政センター「暮らしのセミナー」講師に登録  
環境省『地球温暖化防止活動』環境大臣賞を受賞  
「ごみ減量推進市民会議」に参加
- 2008年 「CCかわさきエコ会議」に参加  
CCかわさきタウンミーティングで活動報告
- 2009年 CCかわさきタウンミーティングで活動報告

## ■ 出前講座・暮らしのセミナー実施実績

出前講座 川崎総合教育センター夏期講座  
市立小田小学校／中野島小学校／南野川小学校ほか  
市立南河原中学校ほか多数  
幸市民館日吉分館  
多摩区まちづくり委員会講座  
川崎区環境出前講座  
KFV豊かな空間 ほか

### 暮らしのセミナー

コープかながわ  
青少年の家 エコチャレ  
県立川崎高校  
市立南原小学校（地域教育会議講座）  
菅生分館子育て講座 ほか多数